

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

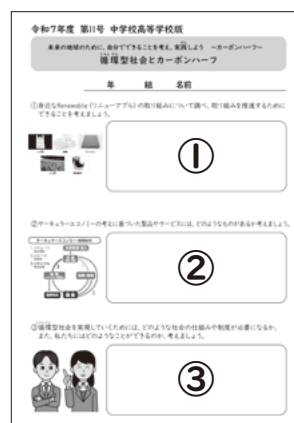
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル 推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
循環型社会とカーボンハーフ

表題






ねらい

- ・循環型社会の考え方について、資源循環とエネルギー循環の観点から理解する。
- ・循環型社会におけるエネルギーの利用について知り、カーボンハーフとの関係を考える。
- ・「3R+Renewable」の基本原則を理解し、身近な取り組みの例を考える。
- ・サーキュラーエコノミーの考え方を知り、循環型社会の実現のために必要な取り組みや行動を考える。

本教材で扱う 主な内容

循環型社会とカーボンハーフ、循環型社会におけるエネルギーの利用、「3R+Renewable」の基本原則、サーキュラーエコノミー

主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
<ul style="list-style-type: none"> ○推進資料①を見て、循環型社会の考え方を理解する。 ○循環型社会におけるエネルギー利用の取り組みと温室効果ガスの排出量の削減の関係について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○循環型社会について、資源循環とエネルギー循環の両方の観点から説明する。 ○循環型社会におけるエネルギーの使い方の例を基に、循環型社会とカーボンハーフの関係について考えるよう声掛けをする。 	◆揭示用教材① ■東京都環境局 廃棄物と資源循環 
<ul style="list-style-type: none"> ○推進資料②を見て、「3R+Renewable」の基本原則を理解する。 ○身近なRenewable（リニューアブル）の取り組みを調べ、自分たちがどのようなことを心がければよいのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○Renewable（リニューアブル）の取り組みについてバイオマスプラスチックを使った製品の例を基に説明する。 	◆揭示用教材② ワークシート① ■一般社団法人プラスチック循環利用協会 最近よく聞く「Renewable」って何？ 
<ul style="list-style-type: none"> ○推進資料③④を見て、サーキュラーエコノミーについて知る。 ○サーキュラーエコノミーの考えに基づいた製品やサービスにはどのようなものがあるか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○サーキュラーエコノミーについて、リニアエコノミー及びリサイクリングエコノミーとの違いに注目して、理解するよう声掛けする。 ○話し合いが進まない場合は、国や東京都、企業などが取り組むサーキュラーエコノミーの身近な事例を紹介する。 	◆揭示用教材③④ ワークシート② ■経済産業省 サーキュラーエコノミー 
<ul style="list-style-type: none"> ○循環型社会を実現していくためには、どのような社会の仕組みや制度が必要になるか、自分たちができることは何かを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○循環型社会を実現するための制度や仕組みを調べ、さらにどのような取組が必要になるかを考えるよう声掛けをする。 	ワークシート③

